

令和5年度松本市立二子小学校ランドデザイン



子どもが主人公
学都松本のシンカ
多様性 創造性 主体性
(松本市教育大綱)

- ◇保護者の願い
- 夢の実現に必要な学力をつけてほしい
 - 友だちと仲良く楽しい学校生活を送ってほしい
 - 安全に登下校をし、学校生活を送ってほしい

- ◇地域の願い
- 元気なあいさつをしてほしい
 - 地域に元気を与えてほしい
 - 地域とのつながりを大切にしてほしい
 - 登下校時の安全の確保を大切にしたい

本校の教育目標 (めざす子どものすがた)

- 勇氣** 心の豊かな思いやりのある子ども
- やる気** 自分から気づき、考え、生み出していく意欲にみちた子ども
- 根気** 根気強く、やりとげる力をもった子ども
- 元気** 進んでたくましく体をきたえる子ども

①学習指導重点

子どもが主人公の授業づくり

～二子小授業の基本スタイルに基づく授業づくり～

- 子どもの「なぜ?」「どうして?」を大切に授業
- 子どもの姿(その子の持つ「見方・考え方」)をとらえての授業展開
- 課題解決への見通しを持てる授業
- お互いの考えを伝え合い、考えを深め、振り返る活動の充実
- 単元を貫く学習問題の設定と自分の成長を確かめ、次への意欲が持てる単元展開
- 学び方を学ぶ生活科、総合的な学習の時間

《ICT機器の活用 一部教科担任制の試行》

②生活生徒指導重点

多様性を包み込む学校・学級づくり

～ひとりひとりの特性に照らした支援の共有と充実～

- どの子にも居場所があるインクルーシブな教育活動
- ひとりひとりにより配慮した生活環境や学習環境の提供と学びの場の見直し
- 学級への所属意識、自己肯定感が持てる中核活動(生活科、総合的な学習の時間を中心に)
- 基本的な生活習慣、社会規範の定着

《他者理解のための人権教育 ユニバーサルデザイン推進》

日常から力を入れたい3つの視点

ふ
ふれあう二子小

- ・姉妹学級、異学年とのふれあい
- ・原級と特別支援学級とのふれあい
- ・地域のみなさんとのふれあい(幼・保、福祉施設、読み聞かせ、奉仕活動)
- ・地域の「もの・こと」とのふれあい(環境、福祉、防災、歴史、行事、農業、工業団地)
- ・保護者との連帯・連携
- ・教育関係等外部機関との連携

知 自分から考える

徳 あいさつ 清掃

体 からだづくり

た
たのしい二子小

- ・場面に応じた気持ちよいあいさつ
- ・「わかった」「できた」を実感できる授業
- ・どの子も役割があり、活躍できる学級
- ・自分の良さを感じ、友だちと良さを認め合える学級
- ・豊かな心を育み、人生を豊かにする生き方を学ぶ教育活動
- ・安心・安全な学校生活、登下校

めざす「ふたご校」

ご
ゴールをめざす二子小

- ・根気強くやりとげる富士山マラソン なわとび
- ・めあてを持って取り組む無言清掃
- ・目標に向かって仲間と高め合う活動(児童会、課外クラブ)